

6月4日(木) 「紫陽花」の時期になりました



青い紫陽花

梅雨になるとよく目にする、紫陽花。しとしと降る雨に濡れて咲く花は青、紫、桃色がふんわりと混ざり合い、雨の日特有の霞がかったような空気の中でとても幻想的です。

日本でよく目にする、青い色の紫陽花。紫陽花の色は、土壌の pH 値によって決まると言われており、日本の土壌は弱酸性であることが多いため、青～青紫の紫陽花になりやすいんだそうです。その昔、西洋人が日本に来航し、青色の紫陽花に感動し、そのまま紫陽花を持ち帰り母国の庭に植えたそうですが、青色だった紫陽花が赤紫になってしまいがっかりしたそうです。実は、ヨーロッパの土壌は雨が少なくアルカリ性の土壌であったために赤紫だったそうです。紫陽花には、さまざまな色があること、また咲いた時からずっと同じ色なのではなく、根から吸う成分によって咲いている間にも色が変わることから、『移り気』『浮気』という花言葉があります。しかし、小さな花が集まって咲いていることで『和気あいあい』『家族』『団欒』など、ポジティブな花言葉もあります。

そんな紫陽花のように変化に柔軟に対応し、その場その場で輝ける人になりたいです。